

農業ひろさきは、弘前市農業委員会のホームページからもご覧いただけます。

弘前市農業委員会

で 検索

★ ★ ★ 農業ひろさき ★ ★ ★

2014年 12月 1日 (第106号)
(平成26年 12月 1日)

編集と発行
弘前市農業委員会
〒036-8551
弘前市大字上白銀町1-1
☎(0172) 40-7104

秋田県羽後町農業委員会視察

農業後継者の配偶者対策など意見交換

10月30日、秋田県羽後町農業委員会（小野浩二会長）の農業委員16名が、農業後継者の配偶者対策と遊休農地対策をテーマとして視察に訪れました。

当日は下山会長をはじめとする弘前市農業委員会運営委員と事務局が、弘前市の取り組みを紹介。羽後町の委員は、弘前市独身農業者縁結び事業を先進的な取り組みとして、強く関心を持ち、PR方法など多くの質問を寄せました。

さらに耕作放棄地に対する共通の悩みなどを意見交換し、互いに有意義な研修となりました。



羽後町農業委員へあいさつする下山会長(中央)

弘前市青年交流会 婚活パーティー ~Dolce de Ti amo~

市内洋菓子店から集めた盛りだくさんのスイーツを楽しみながら、ステキなひとときを過ごしませんか。

- ◆日時 1月31日(土)
午後7時～10時
- ◆場所 弘前パークホテル(土手町)
13階「ステラ」
- ◆内容 市内のいろいろな洋菓子店から取り寄せた盛りだくさんのスイーツをはじめ、カクテルや食事を楽しみながらの交流パーティーです。
- ◆対象 20歳からおおむね50歳までの独身男女
(ただし、男性は市内に居住する農業青年)
- ◆参加料 男性：4,000円・女性：2,000円
- ◆定員 男女各20名
- ◆服装 男性はスーツでお越しください。
- 申込み・問い合わせ先
1月21日(水)までに弘前市青年交流会実行委員会事務局
(市農業委員会事務局内)へ
☎40-7104 メール nougyou@city.hirosaki.lg.jp



りんごやりんご加工品を海外に輸出するためのセミナー開催のお知らせ

りんごやりんご加工品を輸出するための知識やノウハウについて学べるセミナー（全4回、輸出経験不問）を開催します。

第一回では貿易の基礎知識①、第二回では貿易の基礎知識②、第三回では国際物流についての事例・仕組みについて、第四回では貿易のスキルアップについての演習を予定しています。

第一回 「貿易の基礎知識①」

- ◆日時 平成26年12月17日(水)
午後1時30分～4時30分
- ◆内容 第1部：講演『貿易の商慣習と貿易の規則』
第2部：質疑応答『理解促進タイム』

第二回 「貿易の基礎知識②」

- ◆日時 平成27年1月16日(金)
午後1時30分～4時30分
- ◆内容 第1部：講演と演習『国際取引の決済方法とオファーシートの作り方』
第2部：講演『国際取引の契約書』



第三回 「国際物流」

- ◆日時 平成27年1月19日(月)
午後1時30分～4時30分
- ◆内容 第1部：講演『青森県総合輸送プラットフォームを活用したアジア向け高鮮度出荷の実現と販路拡大支援について』、第2部：『国際物流のフローとドキュメンテーション』

第四回 「貿易のスキルアップ」

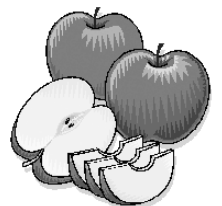
- ◆日時 平成27年1月30日(金)
午後1時30分～4時30分
- ◆内容 第1部：講演『貿易のリスクとヘッジの方法』
第2部：演習『商談』

～共通事項～

- ▼ところ 弘前市立観光館2階研修室
- ▼受講料 無料(全ての回)※事前の申込みが必要。
- ▼定員 各回20名
- ▼申込締切
第一回：12月12日(金)
第二回：1月13日(火)
第三回：1月14日(水)
第四回：1月27日(火)

■申込み・問い合わせ先

りんご課販売促進係（市役所新館6階）
☎40-7105



法人化関係補助事業について



農業政策課では、法人化の前後に対する支援として、下記の補助事業を実施します。事業の活用をお考えの方は、下記までお問い合わせください。

～集落営農組織等法人化支援事業～

◆事業内容 個人農業者等が行う、農業生産法人の設立に向けた活動に係る研修会や座談会等の経費を助成します。

◆対象者 個人農業者、農業者団体

◆補助対象経費 謝金、旅費、印刷製本費、講習受講料等

◆補助金額 2分の1以内(上限10万円)

～集落営農組織等法人化フォローアップ事業～

◆事業内容 設立直後の農事組合法人等が行う、経営の維持・発展に向けた研修会等の実施及び資格取得のための講習会への派遣等の経費を助成します。

◆対象者 平成23年4月1日以降に設立登記した農事組合法人、農業生産法人

◆補助対象経費 謝金、旅費、印刷製本費、講習受講料等

◆補助金額 2分の1以内(上限25万円)

■問い合わせ先 農業政策課農業振興係(市役所新館4階)

認定農業者になって

農業経営の改善・発展をめざそう!

～認定農業者制度とは～

認定農業者制度は、自ら経営改善に取り組む、やる気と能力のある農業者が、5年後の目標を示した「農業経営改善計画」を作成し、その計画を市町村が認定する制度です。

認定農業者には、スーパーL資金等の低利融資制度や税の特例など経営改善のための様々な支援措置があります。

また、平成27年産以降から「畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)」・「米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)」の交付対象者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者となり、規模要件はありません。詳しくは、下記へお問い合わせください。

■問い合わせ先 農業政策課農業振興係(市役所新館4階)
☎35-1111 内線581、582

農作業支援雇用対策事業(スマイルアップ・ルモデル)

りんご課では、市内在住のりんご農家が人手不足解消のため、新規に作業員を雇用した場合に、その研修期間に要する賃金に対する補助事業を実施しています。必要書類(申込書等)をお渡ししていますので、活用をお考えの方は、りんご課にご連絡ください。

◆条件 新規作業員は70歳以下であること。

無料職業紹介所(ハローワーク等)を通して雇用すること。

※これまでにこの事業を活用して雇用した作業員は対象になりません。

※雇用を開始する前に無料職業紹介所への登録をしても、紹介所を通さず直接雇用した場合は補助の対象になりません。

◆補助対象経費 摘果・袋掛け・袋はぎ・葉取り玉回し・収穫の5作業について、各5日間の研修期間中の賃金(交通費を除く)。

◆補助金額 2分の1以内(上限は3,000円/日)

◆雇用終了後に用意するもの

領収書(押印のあるもの)の写し、作業日誌、紹介状の写し、通帳、印鑑

また、作業員の生年月日と住所を申込書に記入していただきます。

◆申請期限 平成27年1月30日(金)

■申請・問い合わせ先 りんご課生産振興係(市役所新館6階)

☎40-7105



りんご等販売宣伝活動支援事業のお知らせ

今年度から、りんご等の販売宣伝活動に係る補助事業を実施することになりました。

興味のある事業者の方はお早めにお問い合わせください。

◆事業内容 民間事業者が企画し、市内の生産者と連携して行う、広告・宣伝活動の経費を助成します。

◆対象者

- (1) 広告代理及びイベント関連業務を営む事業者
- (2) 果実の販売を営む事業者
- (3) 農業協同組合

◆補助対象経費 謝礼、旅費、企画・運営費、デザイン費等

◆補助金額 2分の1以内(上限100万円)

■問い合わせ先 りんご課販売促進係(市役所新館6階)

☎40-7105

近年続く異常気象に備えて【りんご共済】～27年産加入申込み受付中!～

加入プラン	総合短縮方式	特定危険方式(被害限定補償)
補償期間	4月発芽期から11月収穫期までの災害に対応(冬期間の災害を除く)	
対象となる災害	自然災害(水害含む)、鳥獣害など	風害、ひょう害、凍霜害
対象となる被害割合	畑ならし計算型(すべての畑での減収量で計算)は3割以上、畑ごと計算型(畑ごとの減収量で計算)は4割以上の被害から共済金が支払われます。	畑ならし計算型は2割以上、畑ごと計算型は3割以上の被害から共済金が支払われます。
農家負担額(ぶじの場合)	畑ならし計算型は1箱およそ88円 畑ごと計算型は1箱およそ61円	畑ならし計算型は1箱およそ43円～70円 畑ごと計算型は1箱およそ35円～51円
	※申込みは箱数単位。負担額は品種・加入方式等によって異なります。	
補償額(ぶじの場合)	畑ならし計算型は最高でおよそ1箱2,210円 畑ごと計算型は最高でおよそ1箱1,890円	畑ならし計算型は最高でおよそ1箱2,520円 畑ごと計算型は最高でおよそ1箱2,210円
	※品種によって異なります。	

○弘前市による農家負担額(賦課金を除く)の一部(総合は30%、特定3点方式は20%、その他は10%)の助成を予定しています。

○国が掛金の半分をあらかじめ負担! ○防風ネット・防霜ファンがあればさらに割引!

★加入を検討している方や内容を詳しく知りたい方は、下記までお問い合わせください。

■申込締切 平成27年3月25日(水) ■問い合わせ先 ひろさき広域農業共済組合果樹課 ☎28-5700

農地の集約化・規模拡大を支援します! 詳しくは農業政策課まで

今月の農地の権利移動・転用等の申請締切は

12月26日（金）

お間違えのないようお願いします。

■問い合わせ先 農業委員会農地係 ☎40-7104

木育(もくいく)の取り組みについて

中南地域県民局では今年度から「木育」の取り組みを進めています。



◆目指す「木育」

森林資源に恵まれた青森県において、子どもの頃から木を取り入れた生活の中で、木と森に親しみ、人と、木や森のかかわり、森林づくりの大切さを考えられる豊かな心を育むこと。

◆取り組み内容

県産材のおもちゃなどのふれあいを通じて木に親しみ、木の良さや利用の意義を学んでもらうための活動として、幼稚園や保育園での木育体験教室や中南管内の市町村イベントで木育広場の開催などを行っています。

これから参加できるイベントもありますので、お問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ch-nosui/w_si.html



県産材のおもちゃ



一緒に遊んでみよう

■問い合わせ先 中南地域県民局地域農林水産部林業振興課
☎33-3857

経営管理講座「税制セミナー」の開催について

納税の合理化に向けて、昨今の税制改正概要や、消費税確定申告書の記載方法に関して、税理士を講師に迎えたセミナーが開催されます。ぜひご参加ください。

◆日時 12月24日（水）午後1時30分～5時
25日（木）午前8時30分～11時

◆場所 青森市浅虫「海扇閣」（浅虫字蛸谷31）
☎017-752-4411

◆参加費 1人3,000円
（宿泊の場合、別途10,000円）

◆持参教具 筆記用具、大きめの電卓

◆主催 青森県農業会議・青森県農業青色申告会連合会
青森県農業協同組合中央会

■申込み先 青森県農業会議 青森県農業青色申告会連合会
事務局 ☎017-774-8580

■申込み締切 12月17日（水）

■問い合わせ先 弘前市担い手育成総合支援協議会
（市役所新館4階 農業政策課農業振興係内）
☎40-7102

農地転用には農地法の許可が必要です

農地は、大切な食料の供給基盤であり、一度、農地以外に転用されると元に戻すことが極めて難しいことから、無秩序な転用を防止し、農地制度に基づいて転用を行う必要があります。

このため、農地転用許可制度では、優良農地を確保するため、農地の優良性や周辺の土地利用状況等により農地を区分し、転用を農業上の利用に支障が少ない土地に誘導するとともに、具体的な転用目的を有しない投機目的、資産保有目的での農地の取得は認めないこととしています。

農地転用とは

農地を住宅や倉庫等の建物敷地、資材置場、駐車場、道路等農地以外の用地に転換することです。

市街化区域内の農地転用にあつては、あらかじめ農業委員会に届出を行えば許可を要しないこととなっています。

許可の可否については

農地転用許可基準は、平成21年の農地法改正によって、それ以前に比べ、大幅な厳格化が図られました。

このことから、以前転用許可された土地に類似する条件の土地であっても、現在は許可されない場合もあります。

一時的なものも含め、農地を農地以外の目的で利用する場合には、事前に許可の見込みや、必要な手続きについて農業委員会にご確認ください。

■問い合わせ先

【弘前地区】農業委員会農地係（市役所新館4階）
☎40-7104

【岩木地区】農業委員会岩木分室（岩木庁舎1階）
☎82-3111内線611

【相馬地区】農業委員会相馬分室（相馬庁舎1階）
☎84-2111内線805

農地流動化情報

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格	備考
売りたい	407	小沢字蟹沢	田	水稻	74.35a	10a当たり30万円	
	408	清野袋二丁目	畑	休耕畑	7.43a	交渉次第	貸借も可
	409	百沢字小松野	畑	休耕畑	21.35a	10a当たり25万円	価格は交渉次第
	410	富栄字浅井名	畑	りんご	52.17a	10a当たり32万円	
	411	悪戸字後沢	田	水稻	29.57a	交渉次第	貸借も可
	412	百沢字寺沢	畑	りんご	56.46a	総額300万円	
	413	小沢字沢田	田	休耕田	37.07a	総額230万円	貸借も可

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。

■取扱窓口及び問い合わせ先

①農業委員会農地係（市役所新館4階）☎40-7104

②農業委員会岩木分室（岩木庁舎1階）☎82-3111内線611

③農業委員会相馬分室（相馬庁舎1階）☎84-2111内線805

農地中間管理事業

農地の受け手・出し手募集中!

農業委員会委員選挙人名簿 登載申請について

農業委員会委員選挙人名簿は「農業委員会等に関する法律」により、有権者からの申請に基づき、毎年1月1日現在の選挙資格を調査し、調製することになっています。

12月中旬に、調査員が皆さんのお手元に選挙人名簿登載申請書をお届けし、平成27年1月8日(木)までに調査員が回収に伺いますので、「記載注意事項」を参考に記入してください。

- ◆選挙資格 次の条件を全て満たしていること。
- ①平成27年1月1日現在で弘前市に住所を有する者。
 - ②平成7年4月1日までに生まれた者。
 - ③10a以上の農地につき耕作の業務を営む者、その同居の親族又はその配偶者、及び農業生産法人の組合員、社員又は株主で、いずれも年間の耕作従事日数がおおむね60日以上の方。
- ◆この名簿は平成27年3月31日から平成28年3月30日までに於ける農業委員会に関する全ての選挙に使用されます。

【申請書記入例】

申請書記入例

申請者代 住所 弘前市大字 氏名 弘前 太郎 耕作面積 100

申請者氏名を記入。(通常は世帯主名)

番号	氏名	世帯主との続柄	性別	生年月日	選挙権の有無についての農業委員会の意見				
					選挙権あり	選挙権無し	未定	不明	その他
1	弘前 太郎	世帯主	男	昭和8年7月20日	*	*	*	*	*
2	弘前 花子	妻	女	昭和12年4月15日	*	*	*	*	*
選挙資格のない方が記載されている場合は2本線で削除してください。					昭和33年11月18日	*	*	*	*
					昭和34年5月4日	*	*	*	*
5	弘前 アキ	母	女	明治46年8月18日	*	*	*	*	*
6	弘前 冬子	子	女	昭和38年9月5日	*	*	*	*	*
7									*
8									*

選挙資格のある方が記載されていない場合は書き加えてください。

◆問い合わせ先 農業委員会農政係(市役所新館4階) ☎40-7104

～参加者募集～ 第9回農業後継者りんご整枝せん定講習会兼競技会

農業委員会では、農業後継者りんご整枝せん定講習会兼競技会を開催します。

せん定技術の向上を目指し、地域間の連携を図るため、意欲ある後継者の皆さんの参加をお待ちしています。

◆日時 平成27年1月20日(火) 午前9時～午後4時
◆場所 弘前市りんご公園(市内清水富田)

◆参加資格 弘前市内に居住するりんご生産農家の後継者で、18歳から40歳までの方

◆募集人数 30人

◆競技会 団体の部(3人1組)と個人の部で、りんごの整枝せん定に関する実技と筆記試験の点数により順位を決定します。



※市内各地区から幅広く参加者を募るため、同一団体での参加は2組までとさせていただきます。

◆参加料 無料

◆申込締切 平成26年12月26日(金) ※募集人数に達した時点で締め切ります。

■申込み・問い合わせ先 農業委員会農政係(市役所新館4階) ☎40-7104

～弘前市独自の～ 農産物等放射線モニタリング調査実施中!

市では、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故に伴う農産物等への風評被害を防止するため、今年度も、農産物等放射線モニタリング調査を市内で、7月から11月まで毎月1回実施しています。

10月の調査結果は次のとおりです。

◆10月27日調査結果【放射能検査】
りんごの1品目、5か所で実施し、放射性セシウムは検出されませんでした。

農業経営の法人化研修会のお知らせ

弘前市担い手育成総合支援協議会では、集落営農や個人農業者による農業経営の法人化に向けた取り組みを支援するため、研修会を開催します。法人化に至った経緯や取り組み内容についての講演と、農業経営に関する情報提供を行いますので、ぜひご参加ください。

◆日時 12月19日(金) 午後2時30分～4時30分
◆場所 弘前文化センター 2階中会議室

◆内容
○基調講演「農事組合法人中仙さくらファームの取り組み」
講師 農事組合法人中仙さくらファーム(秋田県大仙市) 代表理事 田村 誠市 氏

○情報提供
①農業経営の法人化と農地中間管理事業
公益社団法人あおもり農林業支援センター 理事長 鳴海 勇蔵 氏
②カゴメ加工用トマトの契約栽培
カゴメ株式会社 農事業本部 営農支援部 フィールドグループ 主任 益子 延夫 氏

◆参加費 無料

■申込み・問い合わせ先 弘前市担い手育成総合支援協議会事務局(農業政策課内、市役所新館4階) ☎40-7102 FAX32-3432

◆市ホームページ 現在までのモニタリング調査の結果等については、市ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>

【モニタリング調査結果書の利用について】
市の放射線モニタリング調査結果書は、弘前市で生産された農産物を出荷する際、放射線についての安全性証明書としてご活用いただけます。
モニタリング調査結果書の原本証明を希望される方は、下記へお問い合わせください。

■問い合わせ先 農業政策課農産係(市役所新館4階) ☎40-7102